

専門職大学シンポジウム「次代のプロフェッショナルを育む大学へ — 55年ぶりの新制度『専門職大学』とは —」開催

様々な分野を深く、実践的に学び、 未来を創造するアイデアを育む

理論・実践両面から専門性の高い職業教育を行う高等教育機関として、2019年度に「専門職大学」「専門職短期大学」が創設される。新たな高等教育機関の発足は、短期大学以来、55年ぶりのことだ。18年11月、20年度開学予定の専門職大学2校の教職員や教育研究者らが集まり、専門職大学等の意義や教育課程における特色、育成を目指す人材像などについて議論するシンポジウムが東京で開催された。その概要をレポートする。

プログラム

◎専門職大学の概要説明

ベネッセ教育総合研究所 佐藤昭宏研究員

◎基調講演

「生徒を夢に導く〜プロフェッショナルを育てる〜」

駿台予備学校講師・竹岡塾主宰 竹岡広信氏

◎専門職大学の事例紹介

・事例1 東京専門職大学 (仮称・設置認可申請中)

学校法人敬心学園 小林光俊理事長

東京専門職大学開設準備室 宮田雅之事務局長

・事例2 i専門職大学 (仮称・設置認可申請中)

i専門職大学 中村伊知哉学長 (就任予定)

◎パネルディスカッション

「専門職大学に期待される人材育成」

・パネリスト

東京専門職大学 陶山哲夫学長 (就任予定)

i専門職大学 中村伊知哉学長 (就任予定)

駿台予備学校講師・竹岡塾主宰 竹岡広信氏

ベネッセ教育総合研究所 佐藤昭宏研究員

・コーディネーター

朝日新聞出版「大学ランキング」杉澤誠記編集長

主催：学校法人敬心学園 (東京専門職大学 (仮称)) / 学校法人電子学園 (i専門職大学 (仮称))

後援：朝日新聞社メディアビジネス局 / ベネッセコーポレーション

学生の多様な「得意」を生かした人材育成への期待

2019年度に新設される「専門職大学」「専門職短期大学」(以下、専門職大学等)では、今後の社会の変化に対応した新たなものづくりやサービス開発などの担い手として、「豊かな創造力」「高度な実践力」を備えた人材の育成を目指している。

今回のシンポジウムではまず、専門職大学等が充実させようとしている教育内容などを、ベネッセ教育総合研究所の佐藤昭宏研究員が解説(図1)。

次に、駿台予備学校講師・竹岡塾

主宰の竹岡広信氏による基調講演が行われた。竹岡氏は、自身が教師として向き合ってきた高校生や大学生の姿を具体的に振り返りながら、「誰もが少しのきっかけでやる気を起こし、関心のあることに打ち込むようになる」と語った。そして、専門職大学等には、教科学力だけではなく、大学生の多様な「得意」を生かし、発展させ、世界を牽引する人材を育てていってほしいと期待を寄せた。

続いて、20年度に開学予定の東京専門職大学とi専門職大学の事例紹介があり、最後に「専門職大学に期待される人材育成」をテーマにしたパネルディスカッションが行われた。

図1 専門職大学等の概要

- ◎概要 専門職人材の育成を目的とする高等教育機関。4年制の「専門職大学」、2年制または3年制の「専門職短期大学」がある。
- ◎設立の背景 科学技術の発展やグローバル化の進展に伴い、産業構造や就業構造が急激に変化する中、生産性の向上を図るためには、専門的な知識・技能によって新たなモノやサービス、価値の創造を担う人材の育成が急務となっている。また、大学を始めとする高等教育機関への進学率が向上し、多様化する学生の資質やニーズに応じた高等教育機関の創設が求められていた。
- ◎育成を目指す資質・能力 「豊かな創造力」+「高度な実践力」
- ◎教育の特色
- ①実務家教員の積極的な登用 専任教員数の4割以上を実務家

- 教員とし、その半数は研究能力を有する者とする。
- ②教育課程 産業界などと連携した教育課程を編成し、専門職を担うための実践的な能力や、当該職業の分野で創造的な役割を担うための応用的な能力の育成に力を入れる。
- ③実習 4年制では、40単位以上を卒業要件として設定し、原則としてその半数以上を企業などでの臨地実務実習とする。
- ④学位の認定 課程修了者には、文部科学大臣が認定する「学士(専門職)」「短期大学士(専門職)」の学位が授与される。
- ⑤少人数制教育 原則として、同時に授業を行う学生数は40人以下とする。

*文部科学省の資料を基に編集部で作成。

事例紹介1

東京専門職大学(仮称・設置認可申請中)

専門分野の知識・技能を活用できるよう、マネジメント能力の育成を重視

東京専門職大学(仮称)は、保健・医療・福祉の分野における専門職人材の育成を目指し、1学部2学科で発足する予定だ。医療福祉学部リハビリテーション学科では、理学療法士や作業療法士の志望者、同学部福祉介護イノベーション学科では、介護福祉士の志望者を迎える。各学科では、実務家教員による授業や実習などを通して、各国家資格の取得に向けた学びを充実させるとともに(図2)、専門分野の知識・技能を活用し、新たな事業やサービスを創り出せるよう、専門分野に関連した多様な分野から成る「展開科目」(※1)にも力を入れる。その中心が、財務会計や人材マネジメントなどを学ぶ経営分野であり、どの学科でも履修可能にするという。同大学開設準備室の宮田雅之事務局長は、マネジメント能力を育成する重要性をこう語った。

「高齢化により、支援が必要な人が増える中、保健・医療・福祉の現

場では人材不足が深刻になっていきます。中でも、経営を担うことができず、リーダーを求める声は強く、マネ

図2 東京専門職大学(仮称) 医療福祉学部のカリキュラム(抜粋)

科目	内容
基礎科目(20単位)	地域福祉、リーダーシップ、国際協力、心理学 など
職業専門科目(80単位)	<ul style="list-style-type: none"> ◎リハビリテーション学科 <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法専攻:実習990時間など ・作業療法専攻:実習1,170時間など ◎福祉介護イノベーション学科 インターンシップなど
展開科目(20単位)	経営分野 経営戦略、財務会計、人材マネジメント など
	隣接他分野 美容ケア、ユニバーサルツーリズム、支援システム工学 など
総合科目(4単位)	卒業研究

※当設置計画は予定であり、変更の可能性あり。

*同大学の資料を基に編集部で作成。

マネジメント能力の育成は最重要課題です。また、高齢化は、日本だけではなく、韓国やシンガポールといったアジア各国でも社会問題になっています。そうした中で、本学の卒業生には、海外での業務も視野に入れてほしいという思いがあります。マネジメントの視点は、多様な人々と協働するためにも非常に重要になると考えています」

キャリアアップやスキルアップを図る社会人の学び直しにも応じられるよう、リハビリテーション学科には夜間コースも設置する。同大学を運営する学校法人敬心学園の小林光俊理事長は、次のように述べた。

「日本では、アメリカやヨーロッパ各国に比べて、社会人が仕事を続けながら専門性の高い職業教育を受ける環境の整備に課題があると思います。『学士(専門職)』という国際通用性のある学位を卒業生に授与する専門職大学等が社会人の学び直しの場となれば、日本の職業教育の評価を高めるきっかけになるでしょう。また、『今の自分を変えたい』という思いは、成長の原動力となります。そうした思いを支援することは、教育の原点だと私は考えています」

*1 専門職大学等の授業科目の1つ。「専攻に係る特定の職業の分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものを育成するための授業科目」。授業科目には、ほかに「基礎科目」「職業専門科目」「総合科目」がある。

新しい価値やビジネスの創造に向け、「失敗から学ぶ」教育を推進

i 専門職大学では、「ICT力」「英語力」「ビジネス力」を学ぶとともに、3つの力を融合させて創造力を発揮し、ビジネスにおけるイノベーションを担う人材の育成を目指している。大学名には、インフォメーションやイノベーション、インテリジェンス、イマジネーションの頭文字を用い、「『I(私)』の大学」「主体的に私が変革する大学」という意味も込めたといい。学生がいつでも、どこにいても学べるよう、知識の習得は基本的にオンラインで行い(図3)、予習・復習のための教材もインターネットで配信する。一方、国内外のICT企業と連携し、PBL(※2)やインターシップを充実させるなど、学生が社会で実際に起きている課題と向き合う場を積極的に設けたと、中村伊知哉学長(就任予定)は語った。「科学技術の発展は飛躍的であり、今後は、あらゆる分野でICTが不可欠になるでしょう。機械に代替される職業も出てくると予測される中、

図3 i 専門職大学(仮称)の特色(抜粋)

- ◎ICT教育の段階的な推進 プログラミングやネットワークの設計、ビッグデータを用いた分析、AIの設計・活用と、基礎から応用まで段階的にICT教育を推進。また、知識の習得は基本的にオンラインで行う。
- ◎国際性の強化 英語教育に力を入れ、海外からの留学生も積極的に受け入れる。
- ◎国内外からの幅広い人材登用 学生が実践的なビジネススキルを習得できるよう、地域や海外のICT企業の社員や起業家を教員として招く。最終的には、全教員の8割が実務家になるよう計画している。
- ◎「企業で学ぶ」の重視 ビジネスを実践的に学べるよう、全学生が国内外の企業で640時間以上のインターシップを行う。
- ◎全学生に起業を促す 「うまくいかない中で試行錯誤し、解決を図る」という経験を積めるよう、大学が資金を集め、学生に起業を促すプロジェクトを行う予定。
- ◎学生同士の協働の重視 大学のキャンパスや教室は、学生同士が協働し、講義で身につけた知識・技能をものづくりなどに活用する場とする。

*同大学の資料を基に編集部で作成。

ICTを使いこなし、今までにない価値や文化、ビジネスなどを創造できる人材を育てていく必要があると考えています。そこで、学生が最先端のビジネスモデルやICTの技術を学んだり、多様な人たちと協働したりできるように、(世界各国の)実務家との結びつきを強めていきます。最終的には、実務経験のある教員の割合を8割にしようと計画中です」

ビジネスの実践的な学習を充実させる取り組みにも力を入れる。例えば、インターシップは全学生が4年間で640時間以上行えるように

したいと考えている。ほかにも、「ビジネス実践科目」の一環として、大学が資金を集め、学生の起業を促すプロジェクトを行う予定だという。

「起業は、講義やインターシップなどで学んだ知識・技能を社会で活用する絶好の機会になります。うまくいなくても、課題を解決するために試行錯誤を重ねる中で、学生は様々な気づきを得られます。本学では、そうした『失敗から学ぶ』経験を大切にしたいと考えています。結果を恐れず、新しいことに挑戦しようとする学生を歓迎します」

パネルディスカッション

急激な社会の変化に対応し、新たな課題を解決する創造性をいかに育むか

様々な分野の知識・技能を総合し、創造につなげる場

杉澤 既存の大学や専門学校と比べて、専門職大学等の特色はどこにあるとお考えでしょうか。

中村 専門職大学等の強みは、専門

分野を深く、体系的に学ぶとともに、学んだ知識・技能を応用・実践できるところにあると考えています。新たな課題を解決するためには、学術的な研究と実践的な知識・技能の両方が必要になります。

陶山 日本は、これまでにない高齢

* 2 「Project Based Learning」もしくは「Problem Based Learning」の略称。課題解決型学習。



杉澤誠記
朝日新聞出版
「大学ランキング」編集長
すぎさわ・せいき



佐藤昭宏
ベネッセ教育総合研究所
研究員
さとう・あきひろ



バネリスト
駿台予備学校講師・
竹岡塾主宰
竹岡広信
たけおか・ひろのぶ



バネリスト
I 専門職大学（仮称）
学長（就任予定）
中村伊知哉
なかむら・いちや



バネリスト
東京専門職大学（仮称）
学長（就任予定）
陶山哲夫
すやま・てつお

化社会を迎え、保健・医療・福祉の現場で働く人たちには、新しい事業やサービスを発案したり、ICTを支援に取り入れたりする必要が生じています。そのため、支援者には専門分野以外の知識・技能が求められるようになっていますが、専門職大学等では「展開科目」を中心に、専門分野と関連する様々な知識・技能を学べます。本学の「展開科目」には、経営分野を始め、高齢者や障がい者

が外出を楽しめるよう支援する方法を学ぶ「ユニバーサルツーリズム」、福祉機器などの開発・実用化までのプロセスを学ぶ「支援システム工学」などを開設する予定です。専門分野と幅広い分野の知識・技能を総合することで、専門職大学等が目指す「豊かな創造力」「高度な実践力」の育成につながると考えています。

中村 本学では、国際性の強化にも力を入れます。その一環として、英語によるプレゼンテーションやディベートを行う授業を設置する予定です。また、海外からの留学生も積極的に受け入れ、将来的には定員の半数を留学生にしようと計画中です。

陶山 本学でも、留学生の受け入れを推進する予定です。専門職大学等で学んだ留学生は、自国へ帰って専門職に就き、自国の発展を担う人材になるでしょう。アジア各国では、日本と同じように少子高齢化が進み、保健・医療・福祉の支援を充実させることが切実な課題となっています。本学には、そうした各国を支える専門職人材を送り出し、国際貢献をしていきたいという思いがあります。

竹岡 日本には、言葉で明確に表さず、以心伝心を大切にするという文化

があります。ところが、海外の多様な人々とともに学んだり、協働したりする中では、そうした文化は通用しません。国際社会での活躍を目指す専門職人材には、きちんと根拠を示しながら、自分の考えを言葉で述べる力も重要になると思います。

「好き」が粘り強さを生み、創造性を豊かにしていく

杉澤 専門職大学等には、新たなモノや価値を創り出す人材の育成が期待されています。創造性の涵養には、何が重要になるでしょうか。

中村 インターネットが普及した十数年間で、社会や産業構造は大きく変わりました。情報通信や科学技術はさらなる進歩を続けているため、今後の社会はさらに急激に変化していくでしょう。そうした変化を楽しむ、立ち向かっていく意欲が、創造性を生む源泉になると思います。

竹岡 何かを創造するためには、粘り強さが欠かせません。失敗が続いても、好きなことであれば、諦めずに取り組めると思います。つまり、その分野を好きになることが、創造性を育む第一歩ではないでしょうか。



そのため、専門職大学等には、学生の「好き」をさらに伸ばせるよう、授業を工夫してほしいと思います。

佐藤 高校までの教科学習に興味を持ってなくても、具体的な職業や社会課題と関連性の高い教育を通じて、学ぶ意欲を回復させ、著しい成果を上げる学生は少なくありません。専門分野を深く学ぶだけでなく、学んだ知識・技能を応用して解決に挑む実践も行う専門職大学等で、創造性は自ずと育まれるはずですが、そうした環境は、今後の学生にとって魅力的な進路の1つとなるでしょう。